

製品安全データシート (SDS)

製造者および販売者情報

製造元 株式会社パークス環境
〒152-0004
東京都目黒区鷹番 3-14-13-302
TEL. 03-5794-3933
FAX. 03-5794-3934

製品名：S クリートガード (希釈不可)

No	化学品名	CAS No.	添加量
1	シリコーン (シラン・シロキサン系化合物)	非公開	10-25 (重量比)
2	弱溶剤	64742-95-6	60-100%

3. 【危険性並びに毒性】

危険性：アルミ、錫、亜鉛等の金属を変色する。

有害性：長期的・継続的に皮膚に接触した場合、皮膚炎を起す事がある。

微粒子やミストを呼吸すると鼻、のど、気管支、肺を刺激し、肺炎を引き起こす可能性がある。誤って飲み込んだときには口膈、のど、食道を刺激するおそれがある。

(注)隣接個所の換気は施工個所と同様に行うこと。

— 化管法に該当しません。

4. 【応急処置】

吸入した時：換気が十分に行われていない場所で使用された場合、疲労、むかつき、めまいなどを引き起こす可能性がある。

いずれかの症状が出た場合には空気の新鮮な場所へ移し、暖かくして休ませること。その間、何も飲食しないこと。もし呼吸が停止し、不整になったときは、酸素吸入し、医者に指示を仰ぐこと。

皮膚に付着した時：着衣を脱ぎ、付着個所を石鹸水で十分に洗浄すること。付着した衣服や靴も洗い流す。※その際溶剤やシンナーを一切使用しないこと。

目に入った時：15分以上冷水で洗い流し、即医師に手当てを受ける。

コンタクトレンズははずすこと。

飲み込んだ時：大量の水/牛乳を飲んで薄め、直ちに医者に相談すること。

体を休め、無理に吐き出そうとしたりしないこと。口の中

に入った場合、飲み込まずに口に水を含みすすいだあと吐き出すこと。

(注)体の不調が続く時は、医者に相談すること。

5. 【火災時の措置】

消火剤：粉末または泡沫タイプの炭酸ガスの消火剤を使用し、水を使用しないこと。

火災による危険性：引火性。高熱で燃焼した場合は、炭素、酸化物を発生する。

防護用具：防護用マスクを使用すること。

6. 【災害予防措置】

作業員について：第8項の安全管理上の保護用具を着け、目に入らないようにすること。

環境保護策：施工に際しての汚れは水で洗い流してもよいが、残材をそのまま下水道または川に流さないこと。

施工後の措置：施工後の機材は、廃棄処分用の容器に入れること。

使用器具に付着したS クリートガードは拭くか、こすり落とすか、それでも落ちない場合は揮発油で拭きとる。

7. 【取り扱い並びに保管】

取り扱い：静電気による火花に注意すること。

発火の恐れのあるものは遠ざけておくこと。

施工現場では禁煙を厳守すること。

スプレーによる使用の際は、必ず防護マスクを着用し、その飛沫を吸い込まないように注意すること。

食物に付着させないように注意すること。
 施工中ならびに塗膜硬化中の場所で飲食しないこと。
 ぜんそくや皮膚が敏感な人は作業に従事しないこと。
 換気の不十分な場所での施工には防護マスクを着用すること。
 第8項に従い防護処置をとること。
 保管：容器は常に蓋を硬く閉じて縦向きに保管し、使用中にのみ開缶すること。なるべく元の容器のままで保管すること。

8. 【施工上の安全管理】

吸入：第7項参照
 スプレーによる施工には作業員並びに参観者も保護マスクを着用すること。
 手：ビニール、ネオプレンなどの浸透性のない作業用手袋を着用すること。
 眼球：飛沫が目に入らないように防護メガネを着用すること。
 皮膚：綿、または化繊のツナギを着用すること。作業着を脱ぎ、皮膚に付着したものを石鹼水により十分に水洗いすること。

9. 【物理的、化学的特性、化学的安定性】

外観：液体/透明色
 臭気：パラフィンのような微かな臭い
 引火点：80℃
 沸点：205-248℃
 着火点：240℃
 融点：-30℃
 蒸気圧：0.6hpa
 比重：800 -950kg/m³ 発火制限量
 通常の保管状態下では安定している。※第7項【取り扱い並びに保管】を参照のこと。
 化学分解した場合には、炭素、炭化水素を発生する。

10. 【有害性】

吸入：換気が十分に行われていない場所で使用された場合、疲労、むかつき、めまいなどを引き起こす可能性がある。いずれかの症状が出た場合には空気の新鮮な場所へ移し、暖かくして休ませること。その間、何も飲食しないこと。
 皮膚： 皮膚が敏感な人は炎症を起こすことがある。

眼球：炎症を起こすことがある。
 飲み込んだ時：大量の水を飲んで薄めること。

11. 【環境への生態学的影響】

地下水に影響を与えるような廃棄をしないこと。
 環境影響：初期的な生物分解性：>90%。当製品の含有成分はEFの表面活性剤の生物分解性の規定を満たす。生物によって分解されます。
 弱溶剤：現在の収集データでは川、海に誤って大量に流し込んだ時のみ、水中生物に被害を加える可能性があります。
 簡単に生物分解：自然な微生物によって比較的早く生物分解します。
 水生毒性：LC50 魚、藻、ダフニア>100mg/L
 分解性：簡単に生物分解します（9%減少；BOD）

急性毒性 結果

大 気 で は	急性毒性 経口	>2 000 mg/kg	LD50 ネズミ
	急性毒性 皮膚	>2 000 mg/kg	LD50 ウサギ
	急性毒性 皮膚	>5000 mg/kg	LC50 ネズミ

光化学作用により分解されます。

12. 【残材の処理】

川や下水に放棄せず、産業廃棄物処理規定に従って容器共に処理すること。

13. 【輸送上の制限規定】

ADRに指定されている危険運搬物には該当しない。
 国内：国際輸送時の表示 化学品 HAZCHEM

14. 【輸送上の注意】

破裂・損傷・容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行う。
 国際規制によるコード及び分類に関する情報：該当しない。

15. 【当該製品にかかわる制限規定】

EEC 危険性物質分類：Xn/F

R10：可燃性

R36/37：目、呼吸器官、皮膚の炎症を起こす危険性があります。

R65：誤飲した場合、肺に害を及ぼす場合があります

R66：皮膚が乾燥し、裂傷が生じる恐れがあります。

S 2：子供の手の届かないところに置くこと。

S7：缶の蓋はきちんと閉じておくこと。

S16：火気注意。禁煙。

S23：スプレーによるしぶき、蒸発気を吸入しないように注意すること。

S24/25：皮膚に直接かからないように注意すること。

S29：材料そのものを下水に放棄しないこと。

S37：手袋を着用すること。

*水生生物に有害

*軽度の皮膚刺激性

【その他】GHS 表示

眼刺激性

飲み込むと有害



GHS とは

世界的に統一されたルールに従って、化学品を危険有害性の種類と程度により分類し、その情報が一目でわかるよう、ラベルで表示したり、SDSを提供したりするシステムのことです。

消防法 危険物第4類第3石油類(非水溶性)

UN: 1268 HS code: 2707500000